



2024年12月23日

各 位

会社名 株式会社セレス
代表者名 代表取締役社長 都木 聡
(コード番号：3696 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役 兼 管理本部長 小林 保裕
電話番号 03-6455-3756

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築と中長期的な企業価値向上を目指すため、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価方法

当社の全取締役8名に対し、記名式での実効性評価アンケートを配布し、項目ごとに4段階評価を行うとともにフリーコメントにて回答を得ました。その回答の集計結果をもとに取締役会において課題や今後の取り組みについて協議いたしました。

2. 評価項目

アンケートの主たる項目は、以下のとおりです。

- (1) 取締役会の構成
- (2) 取締役会の運営
- (3) 取締役会の議題
- (4) 取締役会を支える体制

3. 前年度において認識した課題に対する取り組みについての評価

- (1) 子会社を含むグループ管理の体制及び運用についての議論の拡充
グループ全体の方針統一と、経営状況や活動内容に関する情報共有体制の強化を図った結果、経営判断の精度向上につながりました。
- (2) サステナビリティに関する包括的かつ多面的な議論
サステナビリティの取組みへのリソース配分や優先順位の検討並びに企業価値に与える影響に関する議論が促進され、2025年度中に取締役会に環境・社会課題に関するモニタリング体制導入がサステナビリティ委員会において提案されました。

4. 今年度の評価結果の概要と認識した課題

評価の結果、当社取締役会は上記評価項目について概ね適切に機能しており、取締役会の実効性は確保されていることを確認いたしました。

一方、前年度において認識した課題に対する取り組みについての評価及び企業規模の拡大を踏まえ、今後において継続的に取り組むべき課題としては以下の事項があるとの認識を共有いたしました。

- (1) 取締役会のダイバーシティ推進
- (2) 経営戦略に関する議論のさらなる充実

5. 今後の対応

当社取締役会は、今回の評価結果を踏まえて、取締役会の実効性をさらに高めていくために、以下の事項を含む課題への対応策を検討し、必要な対応策を実施することにより、取締役会の機能向上に努めてまいります。

- (1) 取締役会の構成について、経営戦略に照らした必要なスキルの特定及び多様性の確保
- (2) 取締役会での議論の充実を図るため、中長期的な経営課題、事業計画、戦略的課題等に関する情報を拡充

今後も、当社取締役会は、今回の評価結果を踏まえた取組みに限らず、取締役会の更なる実効性向上のために必要な取り組みを実施し、改善に努めてまいります。

また、取締役会の実効性に関する評価は今後も継続的に実施するとともに、評価方法等の改善も検討してまいります。

以 上